

秋田県のブタクサ繁茂調査について (第2報)

原 田 誠三郎* 笹 嶋 肇* 森 田 盛 大* 井 谷 修**

I はじめに

秋の空中花粉の一つであるブタクサはスギやイネ科花粉とともにアレルギー性鼻炎の原因抗原¹⁾の一つであるが、おもに関東地方特に相模原地方に多く、その他の地域では非常に少ないと言われている²⁾。しかし、秋田県内におけるブタクサ繁茂状況については、昨年度³⁾に我々が実施した調査成績以外にほとんど明かにされていない。このことから昨年度の調査地以外を対象として、今年度も同様に行なったので、その結果を報告する。

II 調査概要

A. ブタクサ繁茂調査月日

表1, 2及び3に示した。

B. ブタクサ繁茂調査地

図1及び表1, 2, 3に示した。

C. ブタクサ繁茂調査方法

既報³⁾に準じた。

III 調査結果と考察

日本海側沿岸北部と県北部を合わせた地域のブタクサ繁茂調査は、平成元年9月12～14日に実施し、その結果を表1に示した。奥羽山脈沿いの鹿角市では、赤平と志張温泉でブタクサの繁茂が確認されたが、小坂町ではみられなかった。また、大館市では国道103号線沿いの大滝温泉で確認されるとともに、大館市から国道7号線を南下した新沢でもみられた。次に、国道285号線を通る比内町では確認できなかった。しかし、鷹巣町では285号線沿いの小森と岩脇付近でブタクサが確認された。また、合川町、森吉町、阿仁町及び上小阿仁村などの隣接4町村ではいずれも確認されなかったが、合川町と接する二ツ井町では7号線沿いにブタクサとオオブタクサの繁茂が確認された。また、県北部でオオブタクサ

*秋田県衛生科学研究所 **由利組合総合病院耳鼻咽喉科

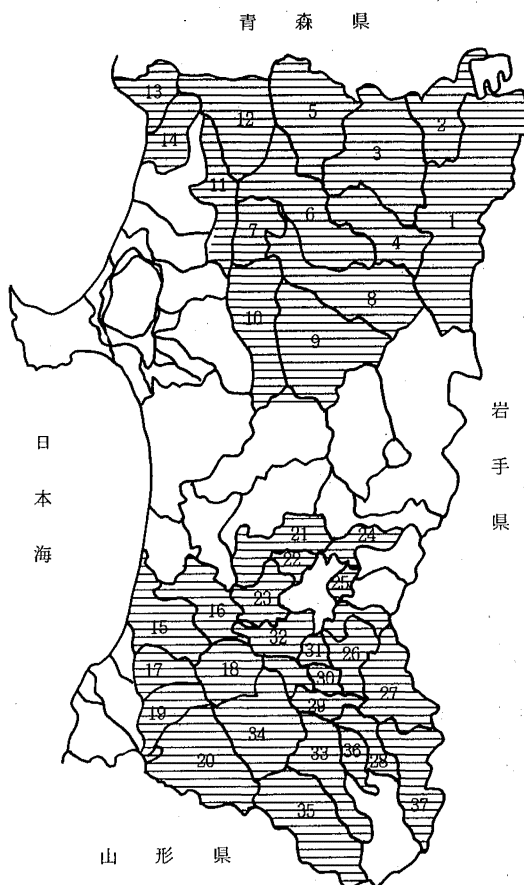


図1. 秋田県内のブタクサ繁茂調査地

の繁茂がみられたのは二ツ井町のみであった。次に、日本海沿岸の北部に位置する八森町と峰浜村では、確認することができなかった。また、両町村と接する藤里町でもみられなかった。

次に、秋田市から日本海側を7号線に沿って南下した由利地域の調査は、9月20～21日にかけて実施し、その結果を表2に示した。日本海に面した本荘市では、一

表1 ブタクサ繁茂調査
(調査年月：平成元年9月12～14日)

No.	市町村	ブタクサ	オオブク ク	備考
1	鹿角市	繁茂確認	未確認	赤平, 志張温泉
2	小坂町	未確認	未確認	
3	大館市	繁茂確認	未確認	大滝温泉, 新沢
4	比内町	未確認	未確認	
5	田代町	未確認	未確認	
6	鷹巣町	繁茂確認	未確認	小森, 岩脇
7	合川町	未確認	未確認	
8	森吉町	未確認	未確認	
9	阿仁町	未確認	未確認	
10	上小阿仁村	未確認	未確認	
11	ニッ井町	繁茂確認	繁茂確認	国道7号沿い
12	藤里町	未確認	未確認	
13	八森町	未確認	未確認	
14	峰浜村	未確認	未確認	

表2 ブタクサ繁茂調査
(調査年月：平成元年9月20～21日)

No.	市町村	ブタクサ	オオブク ク	備考
15	本荘市	繁茂確認	未確認	一番堰きの南側, 大浦
16	大内町	繁茂確認	未確認	川原, 感湯館の南側
17	由利町	未確認	未確認	
18	東由利町	未確認	未確認	
19	矢島町	未確認	未確認	
20	鳥海町	未確認	未確認	

一番堰きの南側や大浦にブタクサが確認された。また、同市と接する大内町でも川原や感湯館の南側などにブタクサの繁茂がみられた。しかし、由利町、東由利町、矢島町及び鳥海町では確認できなかった。

次に、県南部地域については、9月7～8日と20～21日にかけて調査し、その結果を表3に示した。国道

表3 ブタクサ繁茂調査
(調査年月：平成元年9月7～8日, 20～21日)

No.	市町村	ブタクサ	オオブク ク	備考
21	西仙北町	繁茂確認	繁茂確認	皆別当, 小種付近
22	神岡町	繁茂確認	未確認	神岡学園の南など
23	南外村	未確認	未確認	
24	中仙町	繁茂確認	未確認	豊川農道, 長野大橋
25	仙北町	繁茂確認	未確認	仙北自動車学校付近
26	横手市	繁茂確認	未確認	総合庁舎南側
27	山内村	繁茂確認	未確認	山内グラウンド付近
28	増田町	繁茂確認	未確認	真人公園東側など
29	十文字町	繁茂確認	未確認	雄平橋の河川敷など
30	平鹿町	繁茂確認	未確認	五味川, 中吉田付近
31	大雄村	繁茂確認	未確認	田根森, 新町
32	大森町	繁茂確認	未確認	役場, 寺内, 太田
33	湯沢市	繁茂確認	未確認	山谷, 三関
34	羽後町	繁茂確認	繁茂確認	役場付近, 湯沢街道
35	雄勝町	繁茂確認	未確認	院内駅の南側国道
36	稲川町	繁茂確認	未確認	国道沿い
37	東成瀬村	未確認	未確認	

13号線と46号線が通る西仙北町では、ブタクサとオオブタクサの繁茂が皆別当、小種付近にみられたが、隣接する神岡町では、ブタクサのみが神岡学園付近にみられた。また、国道105号線が通る南外村では確認されなかったが、中仙町ではブタクサが豊川農道と長野大橋でみられた。次に、大曲市に隣接する仙北町では、仙北自動車学校付近で確認された。また、13号線を南下した横手市では、総合庁舎南側にブタクサがみられたほか、同市を通過して北上に通じる国道107号線沿いの山内村では、山内グラウンド付近にブタクサの繁茂が確認された。一方、横手市の西側に位置する大雄村(田根森, 新町)と大森町(役場, 寺内, 太田)では、ブタクサがみられた。また、13号線の南下沿いに位置する各市町では、平鹿町の五味川と中吉田付近、十文字町の雄平橋の河川敷、湯沢市の三谷と三関及び雄勝町の院内駅南側国道にブタクサの繁茂が確認されるとともに、これらの市町の

表4 ブタクサ繁茂調査（調査年月：平成元年9月7～8，12～14，20～21日）

ブタクサの繁茂確認市町村	市町村数
鹿角市，大館市，鷹巣町，本荘市，大内町，神岡町，中仙町，仙北町，横手市，山内村，増田町，十文字町，平鹿町，大雄村，大森町，湯沢市，雄勝町，稲川町	18
ブタクサとオオブタクサの繁茂確認市町村	市町村数
二ツ井町，西仙北町，羽後町	3
ブタクサとオオブタクサの未確認市町村	市町村数
小坂町，比内町，田代町，合川町，森吉町，阿仁町，上小阿仁村，藤里町，八森町，峰浜村，由利町，東由利町，矢島町，鳥海町，南外村，東成瀬村	16

西側に位置する羽後町では，ブタクサとオオブタクサが役場付近と湯沢街道にみられた。また，国道342号線が通る増田町と東成瀬村では，増田町の真人公園東側にブタクサがみられたのみで，東成瀬村では確認されなかった。なお，両町村と接し国道398号線が通る稲川町では，国道沿いにブタクサがみられた。以上のことを表4にまとめたが，ブタクサについては県北部の鹿角市から県南部の雄勝町までの18市町村に繁茂が確認され，昨年度の8箇所と合わせると26箇所となった。また，ブタクサとオオブタクサについては，県北部の二ツ井と県南部の西仙北町及び羽後町でそれぞれみられ，昨年度の2箇所を合わせると5箇所の確認となった。しかし，16箇所ではブタクサとオオブタクサのいずれも確認することができず，昨年度の11箇所と合わせて27箇所となった。このように，昨年度の調査地以外を対象として行なった本調査で，県内の各地域のブタクサ及びオオブタクサの繁茂状況にある程度把握することができたが，県内ではこのような調査に関する報告例はほとんど見当たらない。また，東北，北海道でのブタクサに関する報告例は同様に少ない。この花粉飛散に関しては函館市や旭川市で行なった長野たちの報告⁹⁾があるに過ぎない。また，花粉症では本県と隣接する岩手県で1984年に調査を実施した報告例⁹⁾はあるが，花粉症は認められなかった。今後はこのようなことを考慮しながら，これまでに県内各地域で確認された繁茂状況を経年的に調査することにより，県内におけるブタクサ繁茂地域の増減動向を明らかにし，今後のブタクサ花粉症対策に役立てていきたい。

IV ま と め

平成元年の9月7～8日，12～14日及び20～21日にかけて県内の各地域のブタクサ繁茂調査を実施し，以下の結果が得られた。

- 1) ブタクサの繁茂は18市町村にみられた。
- 2) ブタクサとオオブタクサが3町にみられた。
- 3) 16町村でブタクサもオオブタクサも確認できなかった。

稿を終えるにあたり，繁茂調査にご協力いただきました当所主任技師の佐藤恒明氏に感謝します。

文 献

- 1) 奥田稔，アレルギー性鼻炎・宮本昭正，中川武正編・アレルギー性疾患—予防と治療—・東京：医歯薬出版，1895：162～173
- 2) 岸川禮子たち：アレルギーの臨床，No.54：708～710，(1985)
- 3) 原田誠三郎たち：秋田県のブタクサ繁茂調査について（第1報），秋田県衛生科学研究所報，No.33，106～108（1989）
- 4) 長野準たち：日本列島の空中花粉，東京：北隆館，(1978)
- 5) 須藤守夫たち：アレルギーの臨床，No.54：715～717，(1985)